

あなたが選ぶ
『むろらん100選★2015』全投稿リスト

投稿総数：146件
投票総数：74票

ID	タイトル	一言	得票数
1	茶津町の独特の匂い	先日栄高校を昭和29年卒業された方にお目にかかった際、「茶津幼稚園は通った」と聞かれました。また、6歳先輩の清水高方も、「茶津の匂い」はまだ覚えているよ、「測量山とは違ったよね」と、全く同じ印象を持たれていることに感動しました。ここからは、推測ですが、昭和45年ころは日鋼の操業も最盛期で深夜も含めてもくもくと煙が出ていました。したがって、緑豊かな茶津は町も山も懸命に浄化活動をしていたのだろう、それが独特の匂いになっていたのではないかと考えました。果たして、昨年散策した時は、ガスっていたせいもありますが、全くこの懐かしい匂いに再開ができませんでしたので、きっと時代が変遷し煙突の煙には規制などもあって、緑の浄化作用を必要としないものに変遷したのではないのでしょうか。	
2	牛乳うどん	お店などで出されていた物ではなく、家庭料理です。	
3	函館どつくの事務所	結構、古い予感なのですが…	
4	絵鞆の海岸	知っている人は知っているけどあまり多くの人に教えたくない場所です。絵鞆漁港の防波堤から岩場伝いに波で浸食された崖などを渡って行く100m程の区間。住所的には絵鞆町2の下辺りでしょうか。この場所は大潮の干潮時、遠浅の磯場が出現します。特に5月の大潮の時は、潮干狩りでにぎわったものです。昔は、砂地ではアサリ貝、岩場ではノリやニシツブ、やや沖のほうでは毛ガニやウニ、逃げ遅れたどんこやカレイ、時にはタコを捕まえた人もいました。小さなツブを茹でて爪楊枝でほじって食べたものです。今は流れ着いたゴミが目立つ岩場ですが、小さなカニやツブは見かけます。	1
5	木の城大雪の北海道の形をした光る看板	イタンキにぬける交差点「36と37がぶつかるころ」 今も昔もあるトヨタレンタリースさんにむかって室蘭方面側にあつたのです… (´・ω・｀)	
6	ドライブイン大仏亭		1
7	朝日と夕日が見れるところ。		1
8	旧常盤小学校	(緑町、その前は北辰中学校でした) 教室の窓が港に向いていたので、授業中に沢山の入港船を眺めて英語で注意を受けた	
9	本室蘭小学校	本室蘭小学校 昭和50年代前半にはマンモス校だった学校が、今はかなり生徒数が少なくなったよう。ぜひ、学校存続と、校舎の保持を願います！	
10	トッカリシヨ海水浴場		1
11	珍しい円形校舎の絵鞆小学校	室蘭の良い所は、珍しい円形校舎の絵鞆小学校がある所です。うちの家族は親子3代で絵鞆小学校を卒業しています。父、姉、私。そして、私の娘も閉校前の1年間でしが絵鞆小学校に通うことが出来ました。私と姉は100周年という記念すべき年に在校生でした。PV撮影やドラマ、映画等にも使用された学校です。学校は閉校してしまいましたが、建物は取り壊しせずにいつまでも残して頂ければ…。と思っています。	6
12	学校の屋根が吹っ飛んだ！！	昭和29年9月27日、道南地方を雨台風が襲った。僕は天澤小学校6年生で、テレビもない時代でいつもの通り、友達と一緒に学校へ行くと学校のまわりには大勢の人だかり、…どうしたのと聞くと、昨夜の台風で室蘭側に面した僕たち6年生の教室の屋根が飛ばされたという。学校は休校となり、数日すると学校から2部授業という聞かれない言葉で授業が再開された。この台風で青函連絡船洞爺丸が七重浜で強風と高波で転覆し死者・行方不明者など1155名が尊い命を亡くしたことが新聞に大きく掲載され、父からそのことを聞かされたことを想い出した。	1
13	雪景色の中の製鐵所の景色	国内ではたぶんここだけ！	
14	エゾカンゾウの咲き乱れる潮見公園の丘	ガスがかかっていると、より幻想的！	
15	初夏、ちょっとガスがかかった時のだんばらの山の空気	港町むろらんで山も満喫できる！	
16	旧三菱合資建屋の入口の削れた石段	硬い石の階段なのに、まるで溶けたみたいに削れてる！	
17	丸井さんのジュースの噴水	中央町の丸井さんの1F階段近くにジュースの噴水があり、子供心に不思議だった。	
18	水族館の電気なまず	子供たちが水槽を叩いていて可哀想だった。	
19	水族館の小さな動物園	ウサギなどの小動物を飼育している小さな動物園があった。	
20	菊一の焼きとり	本輪西の名店。	
21	新日鉄前バス停	新日鉄正門(5条)から8条あたりまで、1番のりばから8番のりばまであり、大きな待合室があって発着案内のアナウンスもしており、ミニターミナルのような感じだった。	1
22	金市館の上りしかないエスカレーター	下りは階段だった。	
23	浜町ピアホールのボークチャップ	懐かしの味。	2
24	塩釜	うなぎの名店	1
25	地球岬	小学生の頃、遠足・マラソン大会等で道なき道を辿った記憶があります。	7
26	児玉ミシンのふみ子さん		1
27	祝津の交通公園	男の子たちが猛スピードで信号無視を繰り返し、おじさんに叱られていた。	
28	水族館の豆汽車	トンネルの電飾が楽しかった。	1
29	輪西のニュージャパンボウル	ボレーン場。レーンがガタガタだったがよく遊びに行った。	

30	うぐいす沢の湧き水	御前水と母恋の間の山道にあった湧き水。ザリガニがいて、よくスルメで釣りました。	
31	母恋のお祭り	今でも室蘭一と言われますが、昔は本当にすごく賑やかでした。	1
32	すずやのあんみつ	思い出の味	
33	なかよしラーメン	ラーメンの名店。	1
34	北京亭の春雨ちゃんぽん	思い出の味。	
35	室蘭岳のガンバリ岩	なかなかがんばれない。	1
36	日鋼高校	学園祭のお化け屋敷で泣かされて大嫌いになった。	
37	地球岬の霧笛	ガスがかかると響いてくる霧笛の響きがなんと切なくて嫌だった。	
38	イエローサブマリン	清水丘高校生の憩いの場所	
39	プリンスホテルのパバロア	美味しい！	
40	三勝	とんかつの名店	
41	高村のボークチャップ		
42	浪花のおでん		
43	英国館		2
44	カクテルバーカリラ	中島町	
45	室蘭八幡宮から眺める室蘭港		1
46	家の中に居ても聞こえるカモメの鳴き声	東町	
47	八丁平からの蘭東夜景		1
48	室蘭新道	利便性もさることながら、夜の車窓が綺麗。	2
49	高速白鳥号	平成初期にドイツ製(ネオブラン社)車両を使っていた。(乗ってみたかった…)	
50	母恋富士の桜		
51	富留屋のバターせんべい		
52	観光道路を覆う霧	雲の上に居る様な気分	
53	西小路町の急坂	観光道路をおりところ。23%の看板	
54	旧札幌通り	室蘭の開拓の歴史を語る上で欠かせない場所。散歩コースとしても最	2
55	崎守埠頭からの夜景	夜景バスのコースに盛り込まれているが、まだ認知度が低い穴場ではないかと思う。工場と白鳥大橋が両方見える。	
56	舟見町 清洋軒	塩ラーメンのあっさり味。自家製麺の細麺	
57	ノンシャランのボークチャップ	ボリュームに圧倒される	1
58	大黒島	昔、水族館の裏から通船が出ていた	2
59	地球岬の馬の背	馬の背まで行くのが勇気があると一人前扱いされた。今は通行止め	
60	エルム	室蘭-札幌の準急行列車の愛称。日本初のカタカナの愛称。2時間45分で結ぶ。蒸気機関車。一日一往復。	
61	中島七門近くの池にスケートリンクがあった。	オリンピック選手が出た。ウルマ姉弟、堀井学	
62	開運町	広場があって、初代若乃花が部屋単独で巡業に来ていた。今のアークスの山側から中の様子がよく見えた。	
63	昭和29年の洞爺丸台風の風速	風速55mはまだ北海道の記録。武揚小学校のボプラ並木数十本が全部倒れた	
64	亀田の浜(ゴミ捨て場の前)	岩盤の色が緑色だった。(最近では確認していない。)	
65	室蘭岳に行く途中に滝がある	鶯別川の支流、ダムの上。	
66	中心街に映画館が8館あった。	日劇、日活、中央、東宝、大映、大黒館、東映、名画座。昭和30年台後半から40年前半	
67	鶯別岬の室蘭寄り(海岸)	日の出旅館の交差点を海に向かって踏み分け道で海岸に出る。岩だらけなので、ぶつかる波がものすごく美しい。	
68	楽山(測量山が見えるようになった。)	工場の煙が少なくなった。	
69	母恋に共楽座があった。	昭和25年頃消失したが、歌舞伎座にひけをとらない設備だったらしい。	
70	測量山に清水町側から登り、自動車道と別れた山道		1
71	乃ざきの肉鍋	名店。ボリューム満点。	1
72	高平小学校のなかよし広場	ドリームランドの上の森が、昔はきちんと整備されていて子どもが駆け回れる森だった。木登りをしたり、栗やどんぐりを拾ったり、落ち葉を拾ったりして遊んだが、今は人も入れないような藪になっている。	
73	御崎駅ホームの芝桜	誰が手入れしているのかわからないが、毎年美しいピンク色の絨毯が現れ	1
74	鶯団地の坂(港北町)	港北中学校に行く道。冬場の下りは止まらないほどの急坂を毎日行き帰りに登り降りした。港北中学校の生徒にとって登下校とは登山である。	
75	港北町の湧き水	昔、新日鐵社宅街にはあちこちに湧き水を引いた水場があり、夏場はスイカや野菜を冷やして食べた。今でも一箇所だけ残り、週末には洗車に多くの車が訪れる。	
76	栗林堂のケーキ	昔、本輪西にあった洋菓子店。	
77	中村屋のたい焼き	本輪西の名店。おおきな「みみ」が特徴。	
78	港北中学校から眺める景色	小高い尾根の上にある校舎からは白鳥湾とその向こうの測量山や鍋島山、さらには噴火湾の向こうに駒ヶ岳まで見えていた。	1
79	ドラゴンビル(中島町)	室蘭で唯一の田宮模型の正規販売店。ミニ四駆ブームの時にはたくさんの少年たちが小遣いを握りしめて集まった。	1
80	手作りの科学館	よそから持ってきたものは何もない。すべては室蘭の子供たちを知り尽くしたスタッフのおじさんたちが手作りした科学館。だからこそ、子供たちは時間を忘れて遊ぶ。	1
81	天勝の天とじそば	天丼が有名な老舗だが、実は天とじそばも逸品。	

82	栄高祭のファイアーストーム	栄高校の学校祭の後夜祭。下級生も上級生も、運動部も文化部も関係なく、ひたすらに炎を囲んで肩を組み、伝統の「ストーム節」を踊り狂う。	
83	番屋テント(中島町)	夏場だけ開設される海鮮ビアガーデン。普段は高級店だがこの時ばかりはかなりリーズナブルに楽しめるとの噂。	
84	バス賃かけてもお釣りの来る店「しが」	覚えやすいキャッチフレーズ。言わずと知れた輪西の老舗。	1
85	栄高祭の仮装行列	かつては桐屋さんの駐車場を貸し切って行っていた時期もあるらしい。	
86	マスコットのナポリタン	鉄板の上でジュージュー言いながら出されていた絶品のナポリタン。	1
87	アリスのカレー(中島町)	パルコ(スティック9)の裏にあった喫茶店のカレー。美味しいと評判だった。	
88	室蘭ばやし	盆踊りといえば、これ。	1
89	大黒屋の細雪	死んだ祖父の大好物でした。	
90	柏木町のメカゴジラ	カーブのところにあった、光り輝く怪獣。	
91	絵鞆岬の夕陽		2
92	テトラボットの毛蟹		
93	昭和50年代までの絵鞆の草原		
94	絵鞆の土器		
95	絵鞆の海でたくさん取れた海草		
96	漁港の腐った海草や魚の匂い		
97	清水町の下水っぽい川の水の音		
98	絵鞆小学校体育館の丸い天井		1
99	港町界隈の石の階段たち		
100	小学校グラウンドの天然スケートリンク		1
101	国鉄発祥の地	明治25年空知や夕張炭鉱の石炭を室蘭港から積み出すために北海道炭礦汽船が敷設したもので、イトツケレップ(現御崎町)沖の蛇島(へびしま)に仮棧橋が造られてここから船積みされた石炭が積み出され最初の場所である。室蘭市の鉄道発祥の地として現御崎構内の一角に標柱が建立された。明治38年6月21日貨物取扱駅として営業開始。大正11年6月1日一般旅客輸送駅として開始された。当時の御崎駅は、石炭の船積みと室蘭への新設路線と交差していた。その交差点に菱形の転轍器(てんてつき)が取り付けられ、御崎町のダイヤモンドと呼ばれた。	
102	幕西坂	明治5年室蘭～札幌までの本道が開削されて通称札幌通りに場所は請負人たちを相手に居酒屋、酒屋、小売店が建ち並んだ。そんな折り函館で遊女屋を経営していた伊勢野徳右衛門が数人の遊女を連れてトキカモイにきた。徳右衛門は必要に応じて遊女を貸し出すという出張サービスを営業した。これがあたり6軒の遊女屋が建ち明治27年には幕西町へ上る坂から上を遊郭地に指定された。のちに「幕西遊郭地」と呼ばれ昭和33年3月まで続けられた。	
103	忠敬、龍吉翁に会えたらどうか?「伊能橋」	伊能忠敬は千葉県九十九里町に生れた江戸時代の商人である。56歳から17年間に渡り日本全国を測量して歩いた人物です。その伊能忠敬が輪西村(現本輪西町)の中央を流れる川を渡り本輪西神社の坂道を上り八丁平へ向かったという。輪西村に入植した添田龍吉翁に会えたのだろうか? いや、会えなかった。忠敬が輪西村へ来たのは寛政12年(1800年)で、龍吉翁が輪西村に来た時は明治3年4月のことで70年前のことでした。今では、伊能忠敬の偉業を称えてこの地に掲示板が建てられ、バス停は本輪西伊能橋停留所である。	
104	関斐泉先生の碑	室蘭の開拓者泉忠廣の次男致廣は明治23年教員の免許を取得し元室蘭小学校の教師となった。当時、教育の外にあったアイヌの子どもたちを学校に入れて勉強を学ばせ、初等教育界に異色の足跡を残した。明治39年北海道初の小学校教育功労賞を受け、賞金150円(当時の教員の月額給与22円)をもとに卒業生の優秀なアイヌ児童2人を師範学校に入学させて卒業するまで援助を続けた。村民や教え子たちから「関斐泉先生」と慕われ旧元室蘭小学校の校庭の隅に「関斐泉先生の碑」が建てられている。	
105	近代化産業遺産日鋼「瑞泉閣」	明治44年8月、茶津山の小高い丘に和洋折衷のご宿泊所が建てられた。大正天皇(当時皇太子殿下)が室蘭を行啓された際に、ご宿泊として建てられた迎賓館「瑞泉閣」である。陛下は2泊3日の旅程の足を止めてご休息された。のちに皇族専用の宿舎として昭和天皇や今上天皇の御宿泊およびご休息の場としてご利用された。現在では、日本製鋼所的重要顧客のご会食の場として利用している。	3
106	夜桜コンサートで山桜映える	旧本輪西駅へ向かう途中右手の細い道路を8分位走ると右側に大きな大木の山桜が目を見張る。高さは約10m、推定樹齢は190年～200年を超えているという。この地区は角田石川家の旧臣達が室蘭開拓で移住したところでもある。近年では伊達市在住の作曲家太田亜希子さんが夜桜コンサートを開催して見物客を楽しませている。	
107	防人の館、南部陣屋跡(現陣屋町)	寛政11年(1799年)徳川幕府直轄領時代に南部藩(盛岡)が幕府の命により箱館の警護を命じられた。箱館谷地頭近郊に函館南部元陣屋を建て、室蘭～幌別までの沿岸警備に室蘭陣屋、白老陣屋などを建設して北方の警備にあたった。慶応4年(1868年)戊辰戦争、東北戦争、函館戦争で幕府が破れ、政情不安を知った藩士たちは函館元陣屋、室蘭陣屋を焼き払い南部盛岡に帰国し、函館・室蘭・白老の南部藩の陣屋は廃絶した。	

108	一本桜にかけた開拓者の絆	明治3年4月、室蘭郡を支配地として移住した角田石川家の旧臣達から遅れること数年、香川県から移住する一行が室蘭村に着いた。室蘭郡役所の許しを受け、チマイベチ(現石川町)の丘陵地一面が与えられて農耕や牧畜業を行った。現在の香川町である。その時に植えられたのが室蘭名物「一本桜」である。広い放牧地にぼつんと植えられた桜は、道内外の観光客から賞賛を得ている「一本桜」だが、室蘭郡の開拓にかけた者たちの絆である。	1
109	「ものづくりの元祖」	陣屋町郷土資料館に「大釜」が展示されている。今から133年前室蘭開拓の祖 添田龍吉が室蘭郡の開拓の中で、農耕に適さない土地で新しい産業を興した。ものづくりの初めである。明治15年(1882年)噴火湾の漁村一帯に捨てられていた赤錆びた釜や鉄瓶、鍋などの破片を見て鋳物づくりを考えた。現在の本輪西駅前に鋳物工場を建て古銭や鉄などを拾い集めて釜や銅、鉄瓶、鋏や日用品の道具・器具を造り販売を行った製鉄事業である。日本製鋼所、北炭輪西製鉄所が操業する25年前のことです。添田龍吉翁こそが「室蘭ものづくりの元祖」である。	
110	室蘭最古の本輪西神社(現本輪西町)	仙台藩伊達家の一門の筆頭格角田領主石川邦光は、新政府の進める蝦夷地開拓に旧家臣団と共に酷寒の地室蘭に、残りの人生をかけて室蘭開拓に夢を抱いたが領主が離反した。残された旧家臣たちは帰るに帰れず添田龍吉や泉麟太郎らの「武士の誇りと意地」を失わず励まし合いながら開拓を続けた。明治7年8月15日、龍吉は角田に残した父・母・子供達と共に二度と角田に戻らぬ決意で親戚や友人らと郷里に別れをつけた。角田から引き上げる際、龍吉の母恵舞の実家である角田磐都八幡宮の分神を輪西村(現本輪西町)に移して、主君がいない旧臣達の心のよりどころとして神社を建立した。現在の本輪西神社で室蘭最古の神社である。	1
111	輪西村開拓記念碑	明治3年4月6日、仙台藩伊達家角田石川領の領主邦光は室蘭郡支配地として北地跋涉の希望を抱いて移住したものの、邦光は支配地を罷免された。残された移住者添田龍吉、泉麟太郎兄弟は、旧臣達の指導者として艱難辛苦に絶え数々の功績を残した。昭和30年この偉業を子々孫々に伝えるべきとして記念碑を本輪西神社境内に建立した。	
112	2000年前の室蘭の先人	エンルム・シャチ(絵鞆岬)は松前藩とアイヌ人との交易の場として栄えたところで、昭和38年絵鞆遺跡として発掘調査が行われ、この中から永い眠りから覚めた先人の頭蓋骨が発掘されました。昭和55年、室蘭市は法医学的方法で東京の科学警察研究所で復顔を依頼しました。この先人は成人男性と判明しました。もし、この先人のDNAを受け継いだ人が室蘭や北海道、本州などに末裔として存在していたら人となとの「えにし」を感じます。現在、この方の住まいは室蘭民俗資料館です。是非、会いに来て話を聞いて下さいと云っておられます。	1
113	室蘭最古の元仙海寺	有珠郡善光寺の7代目住職仙海上人が明治5年、室蘭発祥の地「モルエラニ(現崎守町)」の中腹に寺を建立し「仙海寺」と命名した室蘭最古のお寺。宗派は法然上人を宗祖とする浄土宗。明治7年新室蘭の沢町に移転し、大正9年に満岡寺が再建されました。	
114	御幸橋	JR母恋駅から室蘭駅へ行く途中右側にコンクリート造りの橋がある。国道36号から日本製鋼所へ通じる橋です。昭和11年9月26日、昭和天皇が行幸された時に記念として建設されました。当時の費用で8,000円(当時の米一俵が11円80銭)でした。命名の由来は、天皇陛下が外出される時は行幸といい、皇后・皇太后・皇太子・皇太子妃が外出される時は行啓と言います。このことからこの橋を「御幸橋」と命名しました。	
115	室蘭焼き鳥のルーツ	室蘭焼き鳥の歴史は古く、昭和初期に食糧増産のために農家で豚を飼うようになった。昭和8年、輪西製鉄所の城下町輪西町で最初に焼は鳥店「鳥よし」が開店しました。昭和14年、日中戦争時代には軍隊の軍靴が不足し、豚の皮を使用するために養豚が奨励されました。皮と肉は軍隊に納め、豚の内臓などは焼き鳥として、労働者の活力源として食べられた。室蘭焼き鳥の特徴は、肉は豚肉と玉ねぎを交互に挟み炭火で焼き、その店独特のタレにつけてまた焼き、洋カランをつけて食べるという室蘭独特の味とスタイルが評判となった。	1
116	甕黒ゆり伝説	1796年(寛政8年)9月英国探検船プロビデンス号が室蘭に來航した。おりしも、水兵のオルソンが事故死してこの島に葬られた。翌年から島に黒ゆりが咲き始め、いつの日か黒ゆり咲くオルソン島と呼ばれ始めた。1837年(天保9年)場所請負人の岡田半兵衛が航路の安全を願って大黒天を祀ったことから大黒島と呼ばれた。あれから218年の歳月を経たが、その黒ゆりが現在も大切に育てられ、6月には花を咲かせている。花言葉は「恋」「呪い」と呼ばれ、石川県の「郷土の花」である。	
117	通船	昔、海岸町から本輪西に通船があった。港を見ながら、のんびりした小旅行でした。待合室はまだ残っているのでは？	2
118	鳥辰の室蘭やきとり		
119	中島にあったおもちゃ屋 ハッピートーク	高校のときに彼女に付き合わされて、地階のファンシーコーナーに行ったときの恥ずかしさは今でも思い出します。	2
120	もうないのですが…中島にあったスベルの違うバルコ	若かりし頃、学校からの帰宅途中、2階の服屋とかよく寄ってました。	2

121	東町の変な看板	昔のグラウンドボウリングのところにたくさん目がついた人が泳いでいる変な看板があり、帰省する度に変わらないなあとなつかしく思います。インパクト大の看板です。	1
122	中島の玉山	輪西のふじとりのような、室蘭独特の焼き鳥屋さん。焼き鳥はもちろん室蘭焼き鳥で、♫のラーメンもある、1件で全て済むオールインワンの焼き鳥屋さん。室蘭の文化ではないかと。	1
123	イタンキ浜からユースホステルを越えてさらに登っていくと拡がっている丘陵	イタンキ浜からユースホステルを越えてさらに登っていくと拡がっている丘陵、そこにある岩があります。そこから太平洋の大海原を眺め、振り返ると新日鐵住金の工場群。	3
124	観光道路にあるボンズ山		
125	唐松平の木製アスレチック		1
126	満龍の牛乳ラーメン		
127	絵鞆の浜の降り口に在った、土器のとれる場所		
128	野鳥園の湧水		
129	中央町コアの中にある階段(降りるとアーケード側)		
130	つつみやの包装紙の匂い(クリスマスの朝の思い出)		
131	浪花のおでん(大人の世界)		
132	中央町にあった、目が動いていた眼鏡屋さんの看板(今もあるかも?)		
133	電信浜海水浴場		
134	測量山で行われていた「母と子の写生会」		
135	金市館!		1
136	旧アーケード「ききとさっち」の向かいにあった学生服とレンタルレコードのお店		
137	旧市立病院の坂下の、たい焼き屋さん(窓越しに覗いてました)		
138	水族館前バス停から、水族館までの道(埋め立てられる前で入口が山側)		
139	祝津のゴーカート		1
140	祝津のひょうたんプール		
141	中央町にあった丸井今井のショーウィンドウの前の太い金属てすり(?)		
142	文教堂書店		
143	祝津の砂浜に転がっていたガラス玉		
144	室蘭新道の午前水トンネルを出ると天気が激変		
145	御崎駅の芝桜		
146	八丁平から中島に降りるときの眺望(測量山の向こうに駒ヶ岳が)		2